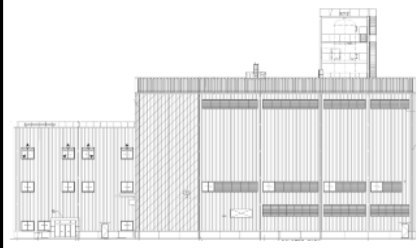


# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築) 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ひびき灘石炭・バイオマス発電所建設工事【タービン建屋】	階数	地上3F
建設地	北九州市若松区響町2丁目7番2号	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法第22条区域	平均居住人員	- 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年6月 予定	評価の実施日	2016年6月21日
敷地面積	3,768 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社大林組
建築面積	1,798 m <sup>2</sup>	確認日	-
延床面積	3,518 m <sup>2</sup>	確認者	-



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

#### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
臨海部産業景観形成誘導地域として、響灘地区の景観形成テーマに対応し、建屋及びプラント装置をバランスよく敷地全体に配置し、自然環境に調和した色調を採用している。全体色調は響灘地区の色彩基準に適合するブルー・グレー及びグレー系でまとめている。		-
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
ほぼ全面的にF☆☆☆☆の材料を使用することや適切な換気計画とすることで、室内空気環境に配慮している。	耐用年数の長い材料や防汚性材等を採用し、建物の維持管理に配慮している。	空調屋外機を屋上に計画することで、景観及び敷地内空間等の暑熱環境に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
適切な外皮性能を確保すると共に、LED照明等による設備システムの効率化を計画することにより、エネルギー消費を低減させることに配慮している。	節水型器具を採用することにより、水資源の保護に配慮している。	ライフサイクルCO2排出率が一般的な建物に対して79%とし、地球温暖化への配慮をしている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される